

## 木更津市市民活動支援センター指定管理業務報告（平成 29 年度から令和元年度）

## 1. 指定管理業務報告（平成 29 年度から令和元年度）

指定管理第 1 期目のコンセプト

1 期目においては、3 つの「つなぐ」をテーマのもと、「支援」「情報発信」「人材育成」に取り組んでまいりました。

- ① 市民と施設をつなぐ（平成 29 年度重点事項）
- ② 市民と市民活動団体をつなぐ（平成 30 年度重点事項）
- ③ 市民活動と市民活動をつなぐ（令和元年度重点事項）

## ① 市民と施設をつなぐ

平成 29 年度重点事項として子育て世代のイベントや子供向けのイベントの開催など市民が施設に来館する機会をつくることで、利用者が増加しました。人が集まる施設となったことで施設価値が高まり、相談件数・登録団体数・会議室利用件数も増加しました。

なお、令和元年度の来場者数等の減少については台風 15 号等災害と新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う施設休館によるものです。

## 来場者数

来場者数	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	10,000 人	16,000 人	30,000 人
実績値	14,339 人	30,720 人	28,152 人

## 相談件数

相談件数	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	30 件	200 件	450 件
実績値	90 件	362 件	432 件

## 登録団体数

登録団体数	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	60 団体	105 団体	115 団体
実績値	85 団体	102 団体	112 団体

## 会議室利用件数

会議室利用件数	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目標値	250 件	450 件	1,000 件
実績値	394 件	933 件	804 件
稼働率	21.3%	50.5%	43.9%

## ② 市民と市民活動団体をつなぐ

市民と活動をつなぐについては、平成30年度重点事項として育成・連携に取り組めました。登録団体と共に地域メディアとの交流を通じた情報発信力強化を図りました。

一方で、利用者は増加傾向にあります。ボランティア活動や市民活動へのつながりという点では、更なる市民活動従事者の増加を目指す必要がある状況です。

### 【全登録団体交流会 年1回】

平成30年6月23日開催 27団体 …45名参加

協力メディア 6社

房総ファミリア、地域新聞、新千葉新聞、かずさエフエム

ジェイコム千葉、NHK 番組制作者

## ③ 市民活動と市民活動をつなぐ

平成30年度から自主事業での市民活動団体との共催を開始するとともに、登録団体同士の活動をつなげることをテーマとして取り組みました。

各種活動での団体同士の連携を図っていますが、団体同士の連携はまだ増やすことが可能であるため、継続して連携を促進してまいります。

また、登録団体の所在地が木更津市街地に片寄りが見られるため、各公民館や地縁組織と連携して、市街地から離れた地域でも市民活動を拡げてまいります。

例)

木更津市オーガニック応援団・勝手に木更津応援団・みなとまちなかフレンドシップ

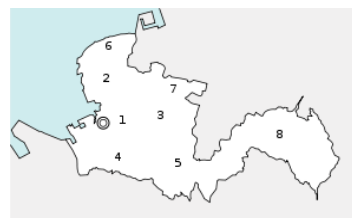
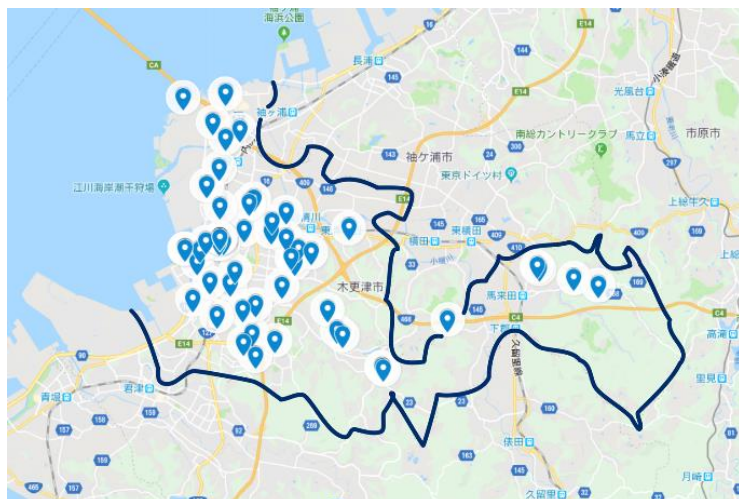
(地域資源を活用した地域活性化イベントを開催)

50cial design すぶりば・ミライキカク・みなとまちなかfriendship

(世代を超えて社会問題を自由に話すイベントを開催)

※以下は団体所在地の分布図

市民活動団体の所在地分布図及び地区別市民活動団体数



地区(◎は市役所位置):

1.木更津地区、2.岩根地区、3.清川地区、4.波岡地区  
5.鎌足地区、6.金田地区、7.中郷地区、8.富来田地区

地区	市民活動団体数
1 木更津地区	51
2 岩根地区	10
3 清川地区	13
4 波岡地区	19
5 鎌足地区	9
6 金田地区	3
7 中郷地区	0
8 富来田地区	5

## 指定管理第一期目（平成 29～令和 2 年度）に関する自主事業の報告

### ■平成 29 年度【市民活動活性化事業】

#### ●登録団体交流会（H29・6/17）

テーマ：『つながり』

内 容：市民活動団体の今後の活動と地域課題の共有と解決に向けての話し合いを参加団体とすることで、交流や連携を図った。

参加団体：27 団体 60 名

#### ●NPO 立上げ基礎講座（H29・7/25）

内 容：ボランティアと NPO の違い、法人格取得のメリット、NPO 設立のための基礎知識を学ぶ機会を提供した。

参加団体：1 団体・市民 8 名

#### ●登録団体カテゴリー別交流会（H29・11/26）

テーマ：第 1 部『まちづくり』第 2 部『障がい福祉』

内 容：まちづくりに関する活動をしている団体の交流とマッチング、福祉に関する活動をしている団体の課題の共有と課題解決に向けてのワークショップを開催した。

参加団体：19 団体

#### ●市民活動支援セミナー（H30・3/18）

テーマ：『新たな仲間の巻き込み方・あたたかい組織の育て方』

内 容：市民活動団体の人材育成・団体運営に関する勉強会を開催した。

参加団体：13 団体 22 名

■平成30年度【市民活動活性化事業】

●団体活性化交流会（H30・6/23）

テーマ：『市民活動×メディア 活性化交流会』

内 容：市民活動の役割と機能について考察し、そのうえで市民活動団体情報の伝え方、周知の仕方をメディアから学ぶ機会を提供した。

参加団体：27 団体 45 名

協力メディア6社

CR ファクトリー講座『市民活動とは？』

●ボランティア養成講座（H30・7/7）

テーマ：『みらいへつなぐボランティア養成講座』

内 容：オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアの役割や地域活性につながる持続可能なボランティア活動について学ぶ機会を提供した。

参加者：47 名

●カテゴリー別団体交流会（H30・12/16）

テーマ『働きやすい職場づくりセミナー』

内 容：福祉に関する活動をしている団体が職場環境・人材教育などの地域課題について解決していくための講座・ミニワーク・交流する機会を提供した。

参加団体：12 団体

●ボランティアコーディネーター養成講座（H31・2/17・24・3/3）

テーマ：『市民活動・ボランティア活動を知る』

内 容：ボランティアコーディネーターとしての知識・スキルを学び、団体の分析をし、見えてきた課題に対しての対応策を検討、コーディネーターとしてのスキルを実践していくための機会を提供した。

参加団体：10 団体 26 名

## ■令和元年度【市民活動活性化事業】

### ●団体交流会（令和元年 6/29）

テーマ：『ボランティアでひろがるまちづくり』

内 容：団体の活動の棚卸をして団体の強み・活動のビジョン・ミッションの明確化を図り、他団体の活動を知ること、協力やコラボでの市民活動活性化につなげる機会を提供した。

参加団体 38 団体 61 名

### ●パラリンピック推進講座（令和元年 6/9）

テーマ：『ボッチャ体験会』

内 容：2020 オリンピックイヤーに向けてパラスポーツを学び、年齢問わずみんなで楽しく体験し、パラリンピックを盛り上げる機会を提供した。

参加人数：18 名

### ●ラボフェス（令和元年 11/3）

テーマ：『ラボでつなごう、木更津のむかし・いま・そしてみらいへ』

内 容：市民活動団体の活動紹介・物品販売・展示。市民活動団体の多様な在り方を認め合い、支えあい、交流の場として、また市民活動に興味のある市民の出会いの機会を提供した。

参加団体：26 団体 650 名

### ●市民活動コーディネーター養成講座（令和 2 年 2/9・16・22）

テーマ：『市民活動入門』

内 容：課題解決型の市民活動団体の考え方や団体の運営について、災害からみえてくる地域課題について学び・ディスカッションする機会を提供した。

参加団体：20 団体 45 名

### ●カテゴリー別交流会（令和 2 年 2/22）

テーマ：『災害と地域の防災』

内容：団体の情報共有やリソースの洗い出し、災害時の地域での活動報告、災害時の市民活動団体との情報共有や連携がとれるネットワークづくりの機会を提供した。

参加団体：8 団体 11 名

## 2. 第2期指定管理業務計画（令和2年度から令和4年度まで）

### (1) 指定管理1期目での課題

- ① 市民活動従事者の増加を目指す必要（認知度向上）
- ② 団体同士の連携を増やし、市民活動を更に活発化させる必要（連携の促進）
- ③ 市民活動を市街地から離れた地域でも拡げる必要（市民活動の拡大）

### (2) 次期指定管理期間のコンセプト

前述の課題を踏まえ、次期指定管理期間におけるテーマは「ひろげる」です。

これからの3年間ではこれまでの「つなぐ」を引き継ぎつつ、次のステップとして、みらいラボの原点である市民活動の普及に向けて、市民活動を市民や市全域に「ひろげる」施設運営を行うべく、運営コンセプトを「市民活動の架け橋になる～市民活動を市民に広げ、木更津市全域に広げる～」と決めました。

2期目の数値目標については以下のとおり設定いたします。

	指定管理4年目 令和2年度	指定管理5年目 令和3年度	指定管理6年目 令和4年度
来場者数	31,500人	32,000人	32,500人
相談件数	400件	430件	460件
登録団体数	120団体	125団体	130団体
会議室利用件数	960件 (52.1%)	970件 (52.6%)	980件 (53.2%)

※会議室利用件数については、開館日を307日とした場合の利用率

### (3) コンセプト及び利用率向上の達成に向けた取組み

#### ① 市民活動を市民に広げる

市民活動をすべての市民に広げる仕組みを構築いたします。そのため、市民活動支援センターへのボランティア従事者の登録を行い、「市民活動ボランティアセンター開設」を実施いたします。

#### ② 市民活動を地域に広げる

木更津の地域課題解決の拠点になるべく、市民活動団体等の協働を牽引し市民活動を市街地だけでなく、市全域に広げます。

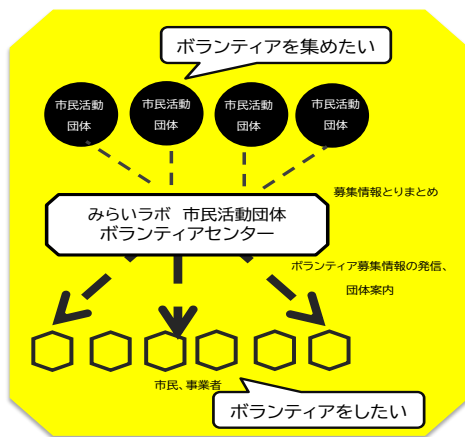
## 市民活動ボランティアセンターの設置（情報発信・支援）

登録団体のボランティア募集情報を公開し、ボランティアと支援を必要としている団体をつなぐ支援を行います。

令和2年5月にボランティア募集調査を行ったところ、ボランティアをすぐにでも募集したい団体が14団体、これから募集を検討している団体が13団体ありました。

ボランティアを募集したい団体にボランティア募集要項に必要な事項を記入していただき、ボランティアに参加したい方が募集要項を手にとっていただけるような展示ブースを設置いたします。

10月中に運用できるよう準備をしております。また、ボランティア情報はLINE公式アカウントでも情報発信いたします。（市民活動ボランティア・災害時ボランティア）



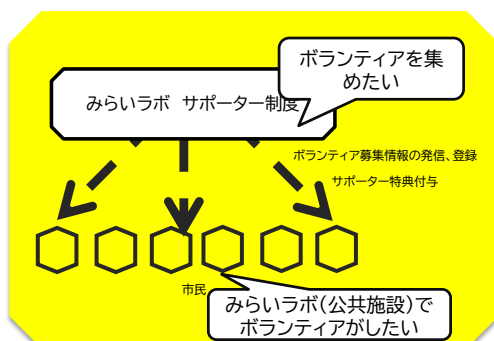
木更津市市民活動支援センター きまらつみらいラボ登録団体	
ボランティア募集求人票	
■団体名	水田山公園・恋の森をきれいにする会。
■登録団体番号	91。
■カテゴリ	環境・まちづくり SDGs: 11
■活動内容	周囲4kmに広がる水田山公園の環境整備をした上で、ここには古代からの文化財がたくさん眠っています。この文化財の宝庫を、文化的事業を通じて、皆さんに紹介、公園内、森の広場以外に6つの広場を市民の方々に認知せしめんと願っています。そうすることで、歴史を大切に守る手は未来が、水更津市の「協働のまちづくり」の光が見えてきます。
■募集しているボランティア内容	内容1：環境整備、毎月第三土曜日9時～11時 内容2：文化財事業、春・夏・秋・冬～水田山公園文化財巡り9時～12時、水田山植物観察会・空生会9時～12時、ロープネット遊び9時～11時
■募集人数	20名。
■団体所在地	水更津市湊川1-5-10。
■備考	水更津市「協働のまちづくり」企画事業に参画。
■担当者	加藤 隆。
■お問合せ先	電話番号：0438-98-3805、携帯090-9313-6547、メールアドレス：takashik4518@outlook.jp。



## みらいラボサポーター制度

「みらいラボをみんなでつくる」をコンセプトに、季節の装飾・植栽・絵本の整理・子育て談話会 (Mother's Tearoom 等) の支援等、ボランティアスタッフとしてみらいラボの運営に関わっていただく制度を立ち上げます。

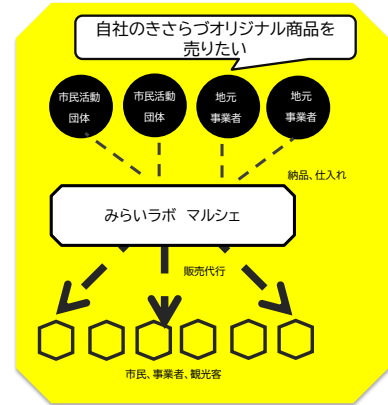
ポイント制を導入し、みらいラボからのサービス特典が得られるように実施いたします。LINE公式アカウントに登録していただき、ボランティア1回に対して1ポイントを付与し、ポイントがたまると、みらいラボカフェのドリンクチケットをプレゼントする特典を用意します。運用開始時期は、11月3日のオーガニックデイでのボランティアを予定しております。



## みらいマルシェ（支援）

登録団体の商品や木更津産商品の販売コーナー設置を行います。駅前に木更津産の商品販売をしているお店が少ないとの市民からの要望があり、登録団体の資金獲得機会の提供として位置づけ実施いたします。

販売産品	団体等
ブルーベリー商品	エザワフルーツランド 一粒舎 夢農場
きさぼんゼリー 【実施】	市民支援薬剤師連絡会 PIG
革製品・紙製品	たぬき工房
手づくりマスク	NPO 法人木更津イルカ計画
手作りのかご 【実施】	株式会社 R.O.F



登録団体の製造販売している商品を委託販売での販売をいたします。運用開始時期は令和 2 年 10/1～令和 3 年 3/31 です。（令和 3 年 4/1～については販売登録料・販売手数料の見直しを行いません。）今年度は新型コロナ感染拡大防止のため、施設の利用ができない期間や利用制限もあり、利用者の減少もある中での運用となるため、販売をされている全団体への募集ではなく、ご興味を持っていただいた団体へみらいラボよりご提案させていただきました。今年度は販売手数料を無料とし、令和 2 年 10/1～令和 3 年 3/31 の期間の販売登録料を無料で委託販売を運用していきます。

## LINE 公式アカウントサービス（発信）

若年層へのアプローチを図るため、公式アカウントを取得し、ボランティア情報や災害時の情報共有を目的といたします。LINE の登録は市民活動団体・ボランティア希望者を対象といたします。そうすることにより、市民活動団体に向けた内容の情報共有ができます。

### ホームページ

内 容：施設の利用状況・登録団体の登録情報開示・木更津市からのお知らせ

### Facebook

内 容：イベント情報・登録団体の活動状況・ボランティア情報（広く募集するもの）  
自主事業情報・木更津市情報、災害時の情報共有

### LINE

内 容：ボランティア情報（市民活動団体向け）  
災害時の情報ネットワークとしてのツール（情報共有）



自主事業計画

分類	No.	自主事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	頻度	年回数
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
市民活動活性化事業	1	全登録団体交流会			○										年1回	1
	2	市民活動・ボランティア講座											○		年1回	1
	3	パラリンピック推進講座		○											年1回	1
	4	みなとまちゴミ拾い					○								年1回	1
	5	市民協働事業		○					○			○			年3回	3
	6	市民活動相談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	随時	12
	7	コミュニケーション講座	○	○	○				○	○	○				年6回	6
	8	みらいラボコミュニティカフェ		○		○			○		○			○	年6回	6
	9	みらいラボフェスタ										○			年1回	1
	10	ファシリテーター養成講座					○								年1回	1
	11	話し方・プレゼンテーション実践講座					○								年1回	1
	12	ボランティア・市民活動マッチングプログラム					○						○		年2回	2
	13	市民活動スキルアップサロン	○		○		○			○		○		○	年6回	6
体験等事業	1	プログラミング体験会				○									年1回	1
	2	こどものアトリエ					○								年1回	1
	3	ヨガ教室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	週1回	48
	4	パステルアート教室		○					○				○		年3回	3
	5	Mother's Tearoom	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	月1回	12
販売事業	1	きさらづみらい CAFE	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	通年	-
	2	物品販売	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	通年	-
	3	みらいマルシェ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	通年	-

■令和2年度自主事業計画概要

●市民活動スキルアップサロン①（令和2年5/23）

テーマ：『はじめてのオンライン会議』

内容：オンライン会議の基礎を学び、市民活動団体の会議に活用できるようにする機会を提供した。

参加団体：11団体 17名

●市民活動スキルアップサロン②（令和2年5/30・6/18午前・6/18午後）

テーマ：『パソコンで誰でも参加できる ZOOM MT 練習会』

内容：オンライン会議の基礎を学び、市民活動団体の会議に活用できるようにする実践の機会を提供した。

参加団体：6団体 11名

●市民活動スキルアップサロン③（令和2年6/6）

テーマ：『アフターコロナと私たち オンラインワールドカフェ』

内 容：市民活動団体のこれまでの活動をふり返り、新しい生活様式に合わせた市民活動についてオンラインで話しあう機会を提供した。

参加団体：6団体・9名

●市民活動スキルアップサロン④（令和2年7/19）

テーマ：『災害にそなえる地域づくりオンラインミーティング』

内 容：昨年の台風の経験を教訓に市民活動団体と自主的にどんなことが出来るかを話しあい災害時ネットワークの構築にむけての機会の提供。

参加団体：7団体・7名

●市民活動スキルアップサロン⑤（令和2年8/30）

テーマ：『みらいラボ登録団体 あるあるお悩み座談会』

内 容：登録団体に実施したヒアリング調査で寄せられた課題で「発信力」をテーマに課題を共有し、対応と実践に向けた支援の機会を提供した。

参加団体：7団体 7名

●コミュニケーション講座（令和2年6/25・7/16・8/20）

テーマ：『ストレスケアを学ぶ』

内 容：コミュニケーションの知識やスキルを学び、また参加費の一部を市民活動団体に寄付することで、登録団体支援および、市民と団体をつなげていくプロジェクト。

参加者：28名